



Weekly Report



インスピレーションになる

クラブ・テーマ Participate Actively, Engage Rotary, Change Lives
「積極的に参加し、ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」

会長 原田晃博
幹事 津多一幸

例会場：割烹「ふな又」 例会日：第2・3・4木曜日
事務所：さいたま市岩槻区本町3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681
http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

原田晃博年度 第3回 通算2663例会

平成30年7月26日

会長挨拶

第56代会長 原田晃博

皆様こんにちは！本日は多くのお客様がお見えになっております。まず大宮西RC会長の新井清太様、幹事の新藤英介様、蓮田RC会長の田原春夫様、幹事の島村功様副会長の川田金造様、目白大学言語聴覚学科教授仲本なつ枝様、岩槻高校インターアクトクラブ顧問の内井利一先生、清水奈保子先生、会長の佐藤昂輝君、クラブ生の大堀さん。表敬訪問戴き、有難う御座います。感謝申し上げます。多くのお客様のご挨拶を戴きたいので会長挨拶は短めにします。



さて、本日の卓話は8月19日～21日に目白大学内において小学3、4年生を中心に、発達障害のお子さんとその保護者を対象に目白大学の学生さんと2泊3日のキャンプを实践します。「目白発達キャンプ」の名称で、今年で7回目になります。具体的には、子供たちが作業療法士と小児神経医の指導を受けた20名前後の大学生とともに事前研修で遊びや学習を行い、キャンプ中は日常生活を共にする中で、ルールを守ることや望ましい人のかかわり方を身につけます。保護者には小児神経医が様々な発達特性を持つ「発達障害」について解説し、親のかかわり方として有効なペアレントトレーニングについて紹介します。また子育てに悩んでいる親同士がお互いに悩みを共有することで、これまでとは違ったわが子への接し方に気づくこともあります。参加されたお子さんと保護者に良い影響があることが認められており、参加した大学生も良い勉強になり、参加された皆様の気持ちが満たされる素晴らしいプログラムになっております。仲本先生、宜しくお願い致します。

インターアクトクラブ

岩槻高等学校インターアクトクラブに対し、クラブから活動助成金として8万円を授与しました。

(左から顧問：内井利一先生 部長：佐藤昂輝君(2年) 大堀寧音さん(1年) 清水奈保子先生)



本日のお客様

大宮西RC会長
新井清太 様



大宮西RC幹事
新藤栄介 様



蓮田RC会長
田原春夫 様



蓮田RC幹事
嶋村 功 様



蓮田RC副会長
川田金造 様



幹事報告

幹事 津多一幸

- ①8月のロータリーレートは1ドル112円。
- ②ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI I) パートIのご案内。
日時 2018年9月7日(金)受付9:00
場所 大宮ソニックシティ
内容 ロータリーのプログラム、リーダーシップ等、ロータリー情報。
対象 他クラブの会員とディスカッションをし、ロータリー情報を一層身に着けたい方
登録料 6,000円
- ③地区会員増強維持部門「第1回1000日会員の集い」案内。
日時 2018年9月22日(土)受付17:30 終了20:00
場所 パレスホテル大宮 4階ローズルーム
対象 入会3年未満の会員
登録料 8,000円
- ④2017～18年度第4グループ 藤嶋幹事より、前年度の第4グループ 決算報告書が届きました。
- ⑤当クラブ出山知宏会員より事業所「(株)ベイブランニング」新社屋移転祝いに対する御礼状が届いております。
- ⑥大宮西RC、大宮北RC、大宮東RC、岩槻東RC、大宮北東RCより8月の例会予定表が届いております。以上。



卓話「発達障害児への支援～目白発達キャンプ」

目白大学 保険医療学部教授
仲本 なつ恵 氏



こんな子供たちはいませんか？

- ・細かいところの見落としや不注意な誤りが多い
- ・忘れ物や無くしものが多い
- ・落ち着きがない
- ・おしゃべりが多く、質問し終わる前に答えます
- ・順番が待てない

注意欠陥/多動性障害：AD/HD 注意欠如多動症

- ・ことばの指示を理解する事が難しい
- ・言いたいことをうまく話せない
- ・漢字を覚えることが苦手
- ・文字の書き間違いがとても多い
- ・繰り上がりや繰り下りの計算ミスが多い
- ・図形や文章題を解くことが難しい
- ・はさみやのり、ボール等がうまく扱えない

学習障害：LD、特異的学習症

- ・人と協力して行う活動が難しい
- ・その場のルールや約束に従えないことが多い
- ・一度こだわると切り替えが難しい
- ・相手の感情や状況を考えずに話す
- ・大勢よりも一人でいることが多い
- ・子供より大人との関係を好む

広汎性発達障害：PPD、自閉スペクトラム症

ADHD治療に必要なとされるのは、①親ガイダンス ②学校との連携 ③子供との面接 ④薬物療法です。

「目白発達キャンプ」では、6、7月の休日・午前中2時間×4回の事前研修で、子供はレクリエーションに参加、保護者はペアレント・トレーニングを模した行動療法を学び、子供の特性を理解するための話し合いに参加します。

2泊3日のサマーキャンプではラジオ体操、学習、レクリエーション、調理などの諸活動、食事、就寝などを集団行動で体験していく中で、自分の行動をより良いものにする方法を学びます。

ペアレント・トレーニングを学んだ保護者や、サポートの学生達が「望ましくない行動は無視、できない行動には手助け、出来るようになった行動は褒める。千里の道も一歩。体罰はできるだけ使わない。」という考え方で子供と接していく中で、子供達に変化が現れます。

- ・我慢が出来る。
- ・お手伝いが出来る。
- ・自信がついたように見える。
- ・ゲーム以外の物で遊ぶ。
- ・明るくおしゃべりになる。
- ・身のまわりの事が出来る。
- ・身のまわりのことを自ら行う。
- ・料理をしたいと言う。

また、保護者同士も同じ悩みを持つ他の保護者と直接出会い、語らう事で安心感や解放感を得られ、つながりが広がる。

岩槻ロータリークラブでは、この活動に注目し、目白発達キャンプの円滑な運営を支援する意味で、活動助成金として仲本なつ恵教授に対し本日 193,000円を授与しました。

「目白発達プログラム」

発達障害のハンディキャップを抱える児童を対象に、目白大学岩槻キャンパスで続けられている包括的治療を目的としたプログラム。

平成23年3月卒業の松崎大貴さんが発表した卒業論文に注目した仲本なつ恵教授が小児神経科医として発達障害児とその家族に長く関わってきた経験と知識を活かし、発達障害児への新たなアプローチ手法として、松崎さんの提案と発達分野に詳しい他の教員の知識や経験をもとに、作業療法の要素を採り入れて開発した独自プログラム。

内容：春の研修会・夏のキャンプ・冬のクリスマス会

意義：①子育てに困っているご家庭に、子供の特性を理解するヒントを提供する。②好ましくないかかわりによって生じる子供の二次障害を予防する。③保護者同士のネットワークを通じて地域全体が発達障害に対する理解を深める。④医療従事者を目指す学生は地域のお子さんと接する事でコミュニケーション力を養い、また発達特性の偏りに対する理解を深める。



スマイルBOXより

ピジター

大宮西RC会長 新井清太様

1年間どうぞ宜しくお願い致します。

大宮西RC幹事 新藤栄介様

原田晃博会長、津多一幸幹事、ご就任おめでとうございます。皆様どうぞ宜しくお願い致します。

蓮田RC会長 田原春夫様

本年度宜しくお願い致します。挨拶が遅くなりました。

蓮田RC幹事 嶋村 功様

ご挨拶に参りました。本日は宜しくお願い致します。

蓮田RC副会長 川田金造様

今日はよろしくお祈りします。

メンバー(50音順)

遠藤隆雄 小田光司 小林 篤 小林佑次 塩田淳司

鈴木 隆 鈴木真樹 関根信行 高橋真理以

田中芳明 田畑寛樹 津多一幸 内藤 明 中村 正

原田晃博 藤澤洋介 三浦宣之

🌸 たくさんのご芳志ありがとうございました 🌸

スマイル報告

本日のスマイル合計	30,000円
年間累計額	92,000円

出席報告

会員数	出席数	免除者	MU	出席率
26	17		5	84.62%